

8第5号陳情 国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情

受理年月日 令和8年5月12日

陳情者 愛知県安城市百石町2-17-6
社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」
代表 加藤 克助

付託する委員会 建設環境委員会

陳情趣旨

令和8年も米の価格の高騰は収まりません。国民の生活を守るため、国に対し国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出をお願いいたします。

陳情理由

「令和5年版、防衛白書」2023年度から5年間で防衛費は約43兆円程度と増額し、国内総生産GDP1%からGDP2%を目安にしています。

このように防衛費は増額しています。食糧安全保障の観点から国民の主食である米の価格を統制し、米農家の所得の安定を図るべきで、米価格統制費用は食糧安全保障の見地から防衛費から拠出すべきです。

それに加えて、「食糧・農業・農村白書 令和5年版」農林水産省編によれば自営農業に従事する「基幹的農業従事者」は人数2000年240万人から2023年116万人に減少、うち65歳以上は82万人、「基幹的農業従事者」の平均年齢68.7歳です。10年後平均年齢は約80歳で、このままでは日本の農業は消滅します。

東大和市議会において、国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書を提出していただきたい。